

## 令和8年度希望ヶ丘高校公開講座

# 『源氏物語講座』受講者募集のお知らせ

昨年に引き続き希望ヶ丘高校において、地域向け公開講座「源氏物語講座」を開講いたします。皆様とのよき交流の場となれば幸いです。

形式は源氏物語の原文（古文）を口語訳付きのテキストで気軽に読み、皆で楽しく味わうものです。古文は苦手、あるいは初めての方でも大丈夫です。原文のリズムを味わっていただいた後は、講師が口語訳をしながら丁寧に解説いたします。高校生以上の方ならどなたでも参加できます。テキストはこちらでご用意いたします。お持ちいただくのは鉛筆のみです。古典の名作を気軽に、かつ深く味わっていただけます。原文でなければ伝わらない感覚もあります。内容はちょっと難しいですが、人間の深層に迫る深さがあります。じっくり読めば読むほど各自の中に自分の源氏物語ができあがっていくはずです。千年前の古典からしみじみ共感するものを感じ取っていただければと思います。

### ○内容

21年前他校で桐壺巻を開講以来少しずつ読み進め、昨年若菜下巻を終え柏木巻に入りました。今年はその続きを読み進めますが、途中からでも大丈夫です。これまでの話の展開と問題点を最初に解説いたします。また、ほんの一つ二つの場面でもそこに描かれた人の心の有様をダイナミックに感じ取ることができるはずです。毎年こうして継続なさる方が少しずつ増えてきました。

これまでの概要ですが、前の若菜上巻で光源氏は40歳となり人生の後半部に入った途端、一転して物語はあたかも人生の現実と不幸を追求するかのように人々の苦悩を描き始めました。これ以降は源氏物語の第二部といわれ、源氏物語が現在でも文学の最高峰にあるのはこの部分があるからです。物語の時点は源氏48歳、若い後妻女三宮を迎えて以来数年、源氏との生活に苦悩を重ねていた紫上がついに緊張の糸が切れて病に倒れてしまい、その騒ぎの中で源氏の正妻女三宮と若い男柏木の密通が起きた後の場面です。

今年、柏木巻開始直後から読み進めます。密通発覚後、源氏は女三宮をいたぶり二人は救いのない苦悩に陥っています。柏木は罪の意識で病に倒れ、死にゆく彼への周囲の悲哀と愛惜が渦となって広がっていきます。単なる恋を超えた柏木の激しい人間執着と自ら死を求めていく矛盾する姿が、純粋な青年像として胸を打ちます。源氏の心の中にも破滅していく若い二人への憎しみを超えた深い愛着と悲しみが存在しています。矛盾に満ち想像を超えた人物たちの心の愛憐執着は容易な解釈を許しません。愛の苦しみの中で人の心は耐えきれません。寂しさの中ですがってしまうのは、やはり互いの愛情でしかありません。人生の晩年から最期をどう考えるのか、本当に大切な人生の真実を探すための物語です。

開催日時 7/25(土)、8/1(土)、8/8(土)、14時～16時00分 全3回

申込方法 次のフォーム（URL か QR コード）からネットでお申込みください。

URL <https://forms.gle/dYLw63HU5SRU1hmb7>

先着60名様で締め切らせていただきます。

ネット申込が不都合な方は往復葉書でお申込みください。

申込締切 7/15(水)（先着順ですのでお早めにお申し込みください）

受講料 無料。

その他 上履きをお持ちください。会場は当日玄関内に提示します。

問合せ先 〒241-0824 横浜市旭区南希望が丘79-1 県立希望ヶ丘高校「源氏物語講座」係

電話：045-391-0061（代表） 045-391-0951（全日職員室）



担当 三枝秀彰(教諭)